

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	環境衛生事業費	担当課	市民生活課
事業内容(簡潔に)	地域の衛生的な生活環境の確保		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	美しいふるさとを誇れるまちづくり
	政策	ふるさとの魅力と誇りを次世代につなげるまちづくり
	施策	資源循環型社会の構築
関連する個別計画等		根拠条例等 蕨崎市環境基本条例 蕨崎市環境美化推進条例

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	地域の衛生的な生活環境の確保を図る。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区ごとに環境衛生指導員を委嘱する（任期2年）。</li> <li>• 地区に消毒機械の貸し出しを行い、ハエ・蚊などの害虫の駆除をすることにより、衛生の向上を図る。</li> <li>• 市営墓地の環境美化のため、定期的な清掃を行う。</li> </ul>
事業の対象	市民全般

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	623	721	473
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	その他(使用料・借入金ほか)	0	0	0
	一般財源	623	721	473
B	担当職員数(職員E) (人)	0.10	0.10	0.10
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	672	658	658
D	総事業費(A+C) (千円)	1,295	1,379	1,131
主な事業費用の説明		床下消毒機修繕費、公用車経費		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 衛生指導員説明会参加人数	衛生指導員説明会参加人数 (市内 99 地区 98 人)	54	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	24
	2 消毒機械貸出地区数	消毒機械貸出地区数	16	21	16
	3 環境パトロール実施回数	不法投棄防止監視パトロール実施回数(平時週1回)	53	58	51
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	環境衛生指導員の資質向上や知識を深めることを目的に、毎年説明会を実施している。(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止)(令和3年度は説明会を蕨崎市特別環境講座「特定外来生物について」及びオオキンケイギク駆除作戦への参加に変えた)			
	2	地区単位でハエ・蚊・ゴキブリ等の駆除のための床下消毒を行なうため、市で消毒機械を保有し、貸し出しを行っている。			
	3	市内を5つのエリアに分け、委託により週に1回、不法投棄パトロールを実施している。(委託先: 峡北広域シルバー人材センター)			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	環境衛生指導員説明会参加率	54.0	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	24.5
	2	不法投棄の撤去 (R1年台風19号分は除く)	66 8.13	76 19.69	74 8.72
	3	消毒機械貸出回数・台数	18 41	21 55	16 43
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	令和2年度については、コロナ禍にあり中止したが、地域全体で環境問題に取り組むために、令和3年度は、感染対策を行いながら実施した。			
	2	不法投棄物の処理量は増加傾向にあり、対策として継続的な監視パトロールや防止看板の設置などが必要と考える。			
	3	害虫の防除には消毒が有効なことから利用地区が固定化する傾向にあるが、防除が必要な地区があることから、消毒器を整備し継続した貸し出しが必要であると考え。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)	
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	令和4年度の改善計画 (今後の事業展開説明) ・市内全体のごみの分別、資源リサイクルについて、広報等での啓蒙活動や環境衛生指導員の資質向上を図るための研修会等の実施方法の検討を行うとともに、不参加の衛生指導員にも内容が分かるように、資料の見直しを行う。 ・市営新府墓地の環境美化のため、除草作業・除草剤散布を定期的実施。 ・特定外来生物の影響について周知を図るとともに、啓発活動として駆除作業を継続して実施する。	
改善の経過	市営墓地 平成27年度より、市営新府墓地の清掃を、月2回から月1回に変更。 害虫の床下消毒 平成14、20、27年度に床下消毒機を各2台購入 平成18年度にタイヤ付き床下消毒機5台購入 (宝くじ助成金) 令和元年度より、薬事法の改正により薬剤の購入者が使用することとなったことにより、地区への譲渡が出来なくなったため、床下消毒の薬剤及びアメリカシロヒトリの防除薬剤の交付を廃止とした。(機械の貸出は継続) 令和2年度より、環境パトロールの強化を図るため2月を強化月間とし、職員とともにパトロールを実施。 令和3年度よりアメリカシロヒトリ防除事業を統合。 令和3年度よりオオキンケイギク駆除作戦を環境衛生指導員の研修会の一環として実施。	
直近の評価結果	内部評価	2年度 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の改善案	・市内全体のごみの分別、資源リサイクルを今以上に推進するため、広報等での啓蒙活動や環境衛生指導員の資質向上を図るための研修会等を行う。 ・令和2年度より、環境パトロールの強化を図るため2月を強化月間とし、回数を増やして職員とともにパトロールを行う。
	外部評価	対象外 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の対応	対象外
課長所見	環境衛生の推進は地域との協働が重要であり、住民の意識向上のために啓発の強化を図る必要があると考える。	